

2015 年 4 月 1 日発行

発行人：松尾 茂樹

発行所：〒650-0024 神戸市中央区

海岸通 8 神港ビルヂング 625

TEL：078-393-0050

FAX：078-393-0051

E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp

URL：<http://www.kobekeio.org/>

編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

BLUE RED BLUE

～～新年例会～～



天竹清裕(平 15 経)

1 月 16 日神港ビル 7 階にて、1 月度の例会が開催されました。今回は講師を招いての講義ではなく、立食パーティー形式で行われました。

普段の例会では、なかなかお話しができない先輩方ともゆっくりお話しさせていただき、また、最近増えてきた若手同士の交流を深めることもできました。

おいしい料理とお酒をいただきながら楽しく過ごさせていただきました。



~~ 3 月例会 ~~



今泉良太（平 10 経）

3 月 13 日（金）午後 6 時 30 分より、神戸北野の 100 年の歴史を持つ名店の中華料理店「東天閣」にて毎年恒例の 3 月例会が開催されました。

松尾幹事長の司会のもと、堺会長のご挨拶、和田顧問の乾杯により始まりました。

今年度も、東天閣のオーナーの中神先輩には、多大なるご配慮をいただき、特別なメニューをご用意していただきました。

【伊勢海老付き前菜盛り合わせ】【海鮮入りフカヒレスープ】【揚げ物二種盛り（蝦・鶏）】【海老の二種盛り（チリソース・マヨネーズ）】【スペアリブの炙り焼き】【水餃子】【鳴門金時芋の飴炊き】【季節のプリン（フルーツ添え）】

途中、新入会の方の挨拶や初参加のオブザーバーの紹介を挟みながら和気あいあいと過ごさせていただきました。本当にどれもこれも大変美味しく、素晴らしい空間の中でお食事を堪能させていただきました。また、今回は 50 名という大多数の方の参加で大いに盛り上がりました。木村副会長からのご挨拶をいただき、松尾幹事長のエールの下、若き血の合唱でお開きとなりました。

最後になりましたが、中神先輩をはじめ、東天閣の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、例会の中で佐井評議員より福澤先生の教訓集「修身要領」の掛け軸を寄贈いただきました。修身要領とは、福澤先生が創刊された日刊新聞「時事新報」の福翁自伝の中で、「私の生涯の中に出来てみたいと思うところは、全国男女の気品を次第々々に高尚に導いて真実文明の名に恥ずかしくないようにすること」と国民の道徳を高める必要性を感じて、弟子や子息に命じて編集させた教訓集です。





第三章 転換期の義塾と福沢の晩年

この年六月、福沢は「修身要領」の本文を揮毫した。末尾に「明治三十三年六月病後初筆」としたこの福沢自筆の「修身要領」を慶応義塾では石版刷に複製して、篤志者に贈呈したが、これと前記の『慶応義塾学報』に発表されたものとを比較すると、前者すなわち福沢自筆のものには、「慶応義塾社中茶々誌」と題する序はなく、また後者では各条を単に「一、二、三……」としているものが前者では「第一条、第二条、第三条……」と書き改められているほか、本文にも用字について少しばかりの加筆のあとがある。このようなわけで、「修身要領」の決定稿は三十三年六月の福沢自筆のものと見なすべきであろう。そこで本史では、序は『慶応義塾学報』により、本文は福沢の揮毫したものによってその全文を掲げることとする。

文明日新の修身処世法は如何なる主義に依り如何なる方向に進む可きやとは、今の青年学生の大に惑ふ所にして、先輩に対して屢々質問を起すも先生の聞覽を乞ひ、之を修身要領と名け学生に示すこと左の如し。

明治三十三年一月紀元節 慶応義塾社中茶々誌

修身要領

凡そ日本国に生々する臣民は、男女老少を問はず、万世一系の皇室を奉戴して其恩徳を仰がざるものある可らず。此一は満天下何人も疑を容れざる所なり。而して今日の男女が今日の社会に処する道を如何す可きやと云ふは、古来道德の一にして足らずと雖も、徳教は人文の進歩と共に変化するの約束にして、日新文明の社会には自ら其社会に適するのなきを得ず。即ち修身処世の法を新にするの必要ある所以なり。

第一条 人は人たるの品位を進め智徳を研ぎます。其光輝を發揚するを以て本分と為さざる可らず。至徳の男女は独立自尊の義を以て修身処世の要領と爲し、之を服膺して人たるの本分を全うす可きものなり。

第二条 心身の独立を全うし自ら其身を尊重して人たるの品位を降めざるもの、之を独立自尊の人と云ふ。

第三条 自ら勞して自から食ふは人生独立の本源なり。独立自尊の人は自勞自活の人たる可らず。

第四条 身体を大いに健康を保つは人間生々の道に欠く可らざるの要務なり。常に心身を快活にして苟めにも健康を害するの養生を怠む可し。

第五条 天寿を全うするは人の本分を尽すものなり。原因事情の如何を問はず、自から生命を害するは、独立自尊の言に反する理卑法の行為にして、最も賤む可き所なり。

第六条 敢て活潑奮発不屈の精神を以てするに非ざれば、独立自尊の主義を实践するを得ず。人は進取剛守の現気を欠く可らず。

第一節 新道德運動の展開

四六五(三)

会員寄稿

<<竹鶴政孝と阿部喜兵衛>>

顧問 上島康男 (昭 33 法)

NHKの「マッサン」が大好評で、大阪NHKで撮影セットも見学し、又年末の歌番組でエリーさんも見、歌も聴いてきましたが、T.Vで西川きよし演じる住吉酒造の田中大作は、永年京都慶應倶楽部の評議員長を勤められていた阿部喜兵衛様の祖父の摂津酒造 社長 二代目阿部喜兵衛さんです。この二代目阿部喜兵衛さんは長男を若くして失い、二人の娘の一人に婿養子（三代目）を迎え、その間に生まれたお子様がこのエピソードを語ってくださった現在の四代目阿部喜兵衛さんで、摂津酒造は二代目の方の時に、ウィスキー造りも諦め、日本酒の醸造も廃業された由。

広島竹原の竹鶴酒造（現存）の息子 竹鶴政孝（T.Vではマッサンこと亀山政春）を酒の醸造の修業の為に預ったが、ウィスキー造りを学ばせる為、スコットランドへ留学させた処、広島の母親宛にスコットランド人の女性と結婚したいとの連絡があり、母親から「貴方が息子をウィスキー造りの為に留学させた為、大変なことになる。一体どうしてくれるか」と厳しい抗議が入り、責任を感じた阿部喜兵衛さんは、自らスコットランドへ行って「その相手がどんな女性か自分の目で確かめ、もし、ご子息に相応しい女性なら結婚を許してやってくれ」との約束で渡英した。そしてその相手の女性に会ってみると素晴らしい女性だったので、この女性なら大丈夫と帰国して母親に報告したが、それでも渡英前の約束に反して「外国人の嫁はどうも」と中々承諾がとれず、もう一度、渡英し、お母さんは反対しているがそれでも結婚するかと、二人の気持ちを確かめて帰国し、やっと承諾が得られたとのこと。渡英した阿部喜兵衛さんはスコットランドで西洋式便座を見て、きっとリタさんが日本に来て一番困るのはトイレと思い、帰国後直ぐに洋式便器を購入し、帰国後の新居となる家につけておいた。日本に来て、リタさ

んはそれを見て大変喜び、阿部喜兵衛の心遣いに感謝し、日本人の優しさにも感銘を受けたとのこと。

当時は国際結婚は極めて稀で、多くの試練があった。二人の婚姻届けも二代目阿部喜兵衛さんが立ち合い人となり、受け付けてもらったとのことでした。

ウィスキー造りの苦労はT.V以上に大変だったようで、この竹鶴夫人のリタ（T.Vでは亀山エリー）さんは本当に立派な婦人で、国際結婚の厳しい立場にも耐えて、本当によく竹鶴さんをサポートしたそうで、リタ夫人が居て始めてウィスキー造りが成功したと云えるとのこと。この「リタ夫人」については多く作家により小説が発刊されているので知る人は知る女性だったとのこと。勿論竹鶴夫妻についても色々語られていますが、竹鶴政孝・リタ夫妻はT.Vとは違うキャラクターの人物で、昨年末、産経新聞に孫の竹鶴孝太郎さんがお二人のことを詳しく書いておられました。又、鳥井信吾君（三男鳥井道夫氏の長男）からも初代の鳥井信治郎氏はT.Vの鴨居次郎よりかはるかに凄い人物だったと聞いています。長男の岸太郎（T.Vの鴨居英一郎）さんが竹鶴さんの教えを受け、ブレンダーになったが、早逝されました。鳥井信吾君は矢張りウィスキーのブレンダーで現在のサントリーウィスキーの味も彼の力が大だそうです。北海道での竹鶴政孝さんは未成熟なウィスキーを販売した時の失敗を繰り返さないため、しっかり熟成させることにし、熟成には数年かかるので、その間は大日果汁株式会社を設立、地元の産物のリンゴでリンゴジュース等を販売したが、これも高価な果汁 100%の商品しか販売しなかったので余り売れず、経営には非常に苦労したようで、竹鶴政孝さんはどこまでも職人であったとのこと。この社名からウィスキーの銘柄をニッカとしたのはご高承の通りです。以上で終わります。

<<姫路城最後の名君・酒井忠邦と、神戸の街づくりに貢献した豪商・北風正忠について>>

塚本明久（平9総）

本年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、幕末の人材が大きく取り上げられており、幕末の兵庫と姫路に活躍した人物についてご紹介します。



■酒井忠邦（嘉永7年(1854)～明治12年(1879)）

幕末佐幕派の姫路藩は慶応4年(1868年)1月に鳥羽・伏見の戦いが起こり幕府軍は大敗する。そのとき姫路藩兵は高松、大垣、浜田藩などともに幕府軍の後陣に配されていた。

幕府軍敗北によって姫路藩兵も国許に帰り、忠邦は藩兵と行を一にせずに慶喜に従い江戸に入り、第9代藩主酒井忠孝も老中を辞任したが、忠孝が朝敵となったために姫路藩には追討の命が下され、岡山藩によって姫路城は開城。姫路藩では急遽支族である上野伊勢崎藩主酒井忠恒の子である、忠邦を忠孝の養子として迎え宗家姫路酒井家の家督とすることにした。

後世に名君といわれる姫路城最後の城主・酒井忠邦の船出は波乱であった。姫路藩15万石を安堵のため藩老河合屏山の説に従い忠邦は新政府に帰順。数々の救済に努める。

しかし朝廷では幕府最後の老成であった第8代藩主酒井忠績（文政10年（1827）～明治28年（1895））と第9代藩主忠孝（天保10年（1839）～明治40年（1907））に対して疑念を差し挟み、忠邦は同族の若狭小浜藩主酒井忠録を頼って忠績名義の嘆願書を朝廷に提出し、さらに藩内では佐幕派の重職者を罷免し、勤皇派の謹慎を解く藩政改革を行い、慶応4年(1868年)5月21日に至りようやく忠孝の罪を赦されて塾居とし、忠邦は、家督が認められた。（忠孝は罪を赦されて塾居とし明治以後も徳川氏に仕えて、久能山東照宮の宮司となった）

第10代最後の藩主・忠邦は襲封直後、朝敵の罪を償うために御用金の献納、東北への出兵を願い出たが朝廷からは藩の情勢不安定のために、兵庫の豪商・北風正忠（天保5年（1834）～明治28年（1895））の尽力で御用金15万両を商人から調達、忠邦は苦心の上これを献じ、引き換え担保の姫路城を死守。さらに、忠邦は薩長土肥の四藩主による藩政奉還建言に先立って、明治元年(1868年)11月に版籍奉還を建白

したことで知られる。

明治2年(1869)皇居警衛・東京市中取締。6月版籍奉還により姫路藩知事となった。明治4年(1871)7月廃藩置県によって知事により解職となり姫路藩は消滅した。

以後、東京に出て慶應義塾に入学、芳野金陵に漢学を学ぶ。同年11月アメリカに留学し、4年後に帰国したが明治12年3月25日に26歳で病にかかり逝去した。版籍奉還はその後明治2年(1869年)6月に行われ、それにより姫路藩知事となり、明治4年(1871年)のを罷免され、死去した。明治13年3月、最後の城主として僅か1年余の在任であったが、名君の誉れ高かった酒井忠邦公を惜しみ、旧姫路藩士等322人が浄財を寄せて、忠邦公の一周忌に公の墓前に建立した石灯籠が、東京都谷中の姫路城主酒井家墓地から姫路城下山里に平成2年に移されている。

■北風正造（天保5年(1834)～明治28年(1895)）

北風家は江戸時代、主要7家に分かれ、兵庫十二浜を支配し、幕末から明治にかけて北風正造（66代荘右衛門貞忠）は、兵庫の豪商北風家に婿養子に入り、家督相続。幕府御用掛を勤めながら、資金面から勤皇の志士を後援した。表向き幕府の御用達を勤めながら、勤王の志士側について百年除金・別途除金（1796年以降代々の主人が個人の剰余金を居間と土蔵の2つの地下秘密蔵に貯めていた。60万両以上あったという。）の資金と情報を提供、倒幕を推進。明治元年（1868）東征大総督有栖川熾仁親王に駿馬（「トコトンヤレ節」で歌われる宮さんが乗っている馬らしい。正造の愛馬。）と3000両を寄付。一触即発状態の姫路藩と官軍との仲介（15万両と引換で姫路城を守る）。神戸事件では自衛・治安維持の必要から約150名から成る兵庫隊を結成、英国式操練を行う。湊川神社創立建議として学事振興の為、明親館を設立。商法司判事（兵庫在勤）、兵庫県会計官として出仕。西郷隆盛、伊藤博文等と維新前から知己があった。神戸事件で事態解決のため派遣されてきた東久世通禧とは七卿落ちの時手助けした関係でよく知った間柄であった。その他、多くの勤皇の志士と面識があったといわれている。明治に入っては、初代兵庫知事伊藤博文のもと、国事・県政に尽力した。

維新後、初代兵庫県知事・伊藤博文と共に、兵庫および神戸の発展に貢献した。通商司、為替会社頭取、兵庫県権大属廻漕会社頭取、兵庫米会社頭取、教部省検訓導兵庫新川開鑿事業担任を拝命する。神戸駅用地（約24万m²）を無償提供した事でも知られる。交詢社発足時社員でもあった。

しかし、新政府が藩閥組織の様相を呈してくるや、理想とのギャップから官職を辞退。ジョセフ・ヒコ（浜田彦蔵）等を使って、輸出製茶改良会社設立、米商会所設立、元締就任第73国立銀行創立、初代頭取就任家業・商業に専念するが、大番頭の死後、商業の失敗が相次ぎ、伊藤博文や姫路城を救った旧姫路藩主酒井家より援助、持直すが収拾不能。終に倒産し、失意の中、東京で客死した。正造の死を惜しんだ伊藤博文はその後すぐ、自ら筆をふるい、正造の菩提寺、能福寺の北風正造君（顕彰）碑の文字を書いた。

同好会だより

【読書会】

«神戸慶應倶楽部読書会 第37回»

第37回目の学問のすすめ読書会が2月18日(水)に阪本豊起評議員の事務所で行われました。

前回は、堀切先輩の特別講義で輪読は見送りしましたので、今回は「文明の概略」の輪読にひたすら集中し12名の2巡で巻之五を読了しました。巻之五の内容は第9章「日本文明の由来」でした。文明の概略も残すは最後の巻之六第10章「自国の独立を論ず」だけになりました。次回から2回の予定で読了する予定です。

堀切先輩からは「世界が日本経済をうらやむ日(浜田宏一、安達誠司著 幻冬舎)」アベノミクスが良く理解できる経済本だとして紹介されました。

また、大阪なんなんタウン商店街振興組合の理事長を務めておられる池田からは、第18回大阪弁川柳コンテスト作品集を頂きました。大阪弁で最近の時流を面白く表現した450句が載せられているものです。

2次会の話題は、古今東西を駆け巡りましたが、NHKの朝ドラや大河ドラマで活躍している人物にごく近い縁者の方々が数多く慶応や倶楽部の会員の身近におられることに驚きました。

次回の読書会は、平成27年4月15日(水)18:30から、阪本評議員の事務所(建隆ビルⅡ3階)で、「文明の概略」の巻乃六第10章「自国の独立を論ず」(岩波文庫では236頁)から始めます。「文明の概略」(岩波文庫)を持って気軽においでください。飲み会の割り勘代は3000円です。前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会 世話役 阪本豊起

【KKJC】

«KKJC 活動報告»

今年の桜の開花は例年より早めに始まり、近所の桜もすでに5分咲き位になっておりますが、この会報が出る頃には満開でしょうか？桜と酒はジャズに会いますね。

さて、3月は色々なイベントが有りました。

3月1日は恥ずかしながら小生のライブをピブラフォン奏者の第一人者の鍋島直利先輩にお願いして三ノ宮のミッドナイトサンというライブハウスで行いました。ベテラン奏者がそろった中でリラックスしたライブを楽しんで頂きました。

二つ目のイベントは3月15日・ハーバーランドから出航するクルーズ船・コンチェルトの船上ジャズライブ。当日はKKJCメンバーの宮本美代子さん他女性3人のグループ「RED ROSES」とテナーサックス奏者の演奏を楽しみながら1時間半のクルーズを堪能しました。このクルーズは神戸観光に来る知人に好評です。

三つ目のイベントは、いつも我々のジャズツアーやジャズ忘年会に参加して頂いている、パナソニックの小川理子さんとKKJCとでタイアップして、3月28日、梅田のグランフロント大阪南館のパナソニック・ショールームにある試聴室でハイレゾ試聴会を開催しました。総勢32名の参加者でじっくりとハイレゾ音源の音をテクニクスの最新のアンプ・スピーカーシステムで試聴しましたが、クリアな音と奥深さはコンサートホールで聴いているような感じでした。小川理子さんは塾員でジャズピアニストですが、4月よりパナソニックの取締役に昇任しテクニクスブランドの再興責任者として、仕事の面でも活躍が期待されております。4月26日には酒心館で小川さんのライブを行います。その後のKKJC食事会でお祝いをしようと思っております。

世話人 大場知之

【イーゼル会】

<<今月の絵>>

池田 雅彦

(昭39工)



~~4月例会のお知らせ~~

日時：4月24日(金) 18時30分～

場所：神港ビル 7階 会議室

会費：3,000円（ビジターは+1,000円）

内容：当倶楽部の昭和60年商学部卒、現関西学院大学総合政策学部 教授『古川靖洋さん』の講演です。演題は「CSRと企業実績」です。企業経営において、非常に大切に興味あるお話が聞けると思います。皆様是非お越し下さい。
☆参加希望者は事務局まで氏名・卒年・学部をお知らせ下さい。

締切：4月15日（木）15時

~~慶早ゴルフコンペ~~

日時：5月15日(金)

集合9:20/スタート10:00

場所：廣野ゴルフ倶楽部

☆参加希望者は事務局まで氏名・卒年・学部・ハンデをお知らせ下さい。参加連絡を頂いた方には、後日組み分け等ご連絡致します。

締切：4月23日（木）15時

~~定時総会~~

日時：5月27日（水）18:30

場所：神戸ポートピアホテル

南館4F レヴァンテ

会費：8,000円（ビジターは+1,000円）

編集後記

○私事ですが、念願の1/12スケールのガンダムとザクを手に入れました。1.5mの巨大なガンダムとザクです。
○若手会員が徐々に増えてきました。みんなで神戸慶應倶楽部をもっともっと盛り上げていきましょう。

（編集長 鳥巢慶太）



[若手会]

2月27日「若手会」が開催されました。

若手会は、約40歳以下の若手会員により構成され、格式張らない交流を定期的に行っています。

次回は4月23日、場所は三宮を予定しています。

参加ご希望の方、若手会にご興味のある方は、事務局まで。kobekeio@dream.ocn.ne.jp。

